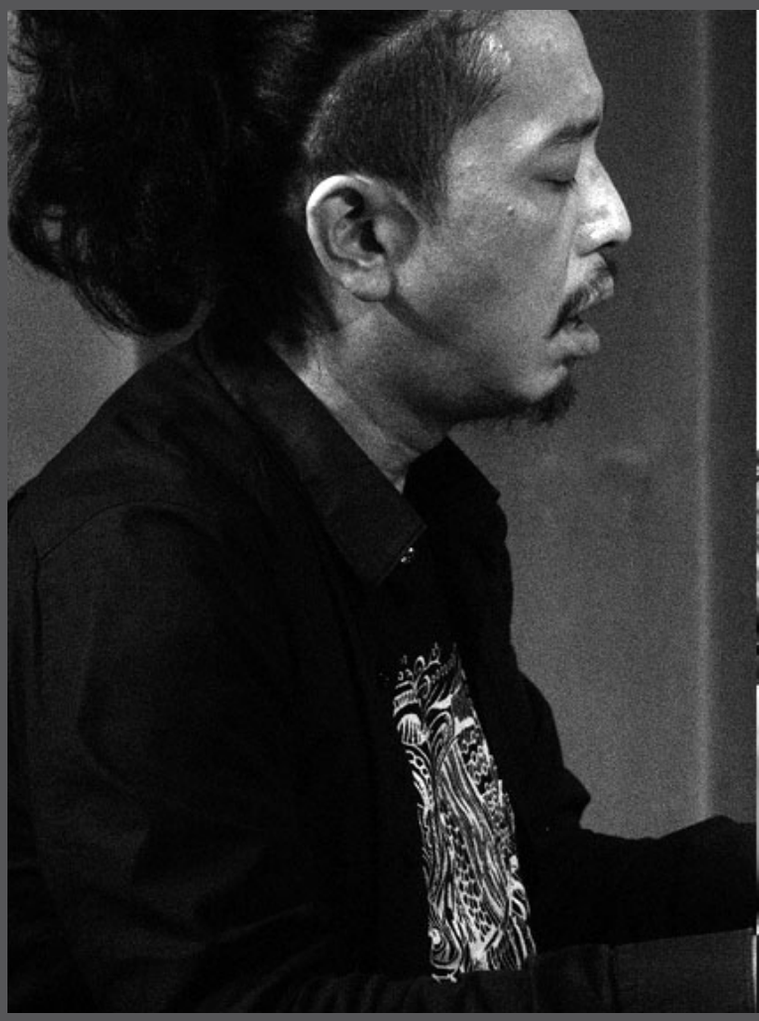
伊藤志宏　piano　　藤本一馬　guitar

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2020 11月21日（土）

開場　19:30　night live
開演　20:00
（2ステージ入替なし　途中入場可）（1drink=600円～）
MC=3000円　＋2drinks order

CAFE BEULMANS
世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2 F
03-3484-0047
mail : info.cafebeulmans@gmail.com
メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



伊藤志宏

ピアニスト、ボタンアコーディオニスト、作曲家、アレンジャー、プロデューサー五歳の頃より祖父の岸川基彦にクラッシックピアノを師事する。14歳のとき東京交響楽団とベートーベンピアノコンチェルト三番を共演好評を博す。慶応義塾経済学部入学後セロニアスモンクのソロピアノの CD を聞いて「ジャズもいいかも」と思い独学で始め音楽理論も同時に一人で学ぶ。23歳くらいからいつの間にかライブを始めるようになりプロ活動を開始特にドラム、ベースのいない変則形態における演奏には定評がある。今現在、ソロピアノ、ピアノトリオ、多様な編成での独自の活動を模索中。また沢山の歌手から伴奏者、アレンジャーとして信頼を寄せられる。
＜リーダー作＞
2012 年10月、自身の初リーダー、プロデュース作品「ladies & pianoman」を発表、ウイリアムス浩子、畠山美由紀、青木カレン、一青窈、たなかりかなど10人のボーカルを集め、ジャズスタンダードを独自の解釈で表現。2014 年、「ヴィジオネール」と 3 cello varistion「タペストリア」をリリース。2018 年、3 cello varistion 2nd album「NOCTIODRIA」をリリース。

藤本一馬

ギタリスト、コンポーザー。1998 年ヴォーカルのナガシマトモコとのデュオ、orange pekoe を結成。2002 年 1st 作 «Organic Plastic Music» で幅広い支持を獲得。その後も国内はもとよりアジア各国や北米でも活動を展開。2011 年ソロ名義での 1st アルバム «SUN DANCE» をリリースし、雄大な自然からの着想、自己の内面を投影した叙情的なオリジナル楽曲もとに、アコースティックな響きと空間的余韻を内包したインストゥメンタル音楽を展開。ジャズやクラッシク音楽だけでなくワールドミュージックリスナーなど幅広い支持を得る。その後もカルロス・アギーレ (pf) やアンドレ・メマーリ (pf)、シルビア・イリオンド (vo) 等をフィーチャーしたソロ名義作 «Dialogues»、«My Native Land»、«FLOW»、また伊藤志宏 (pf) とのデュオ作 »Wavenir» を発表。2019 年、予てから活動を展開していた林正樹 (pf)、西嶋徹 (cb) との FLOW トリオに福盛進也 (dr) が参加し、藤本一馬カルテットを始動。フォークロリックな感性と室内楽の持つ静謐さ湛えたコンテンポラリー・ジャズへ昇華。その他、これまで国内および海外まで多数のアーティストと共演。旋律的でリリカルなアプローチ、ときに野生的なダイナミズムまで、その音楽性は高い評価を獲得している。